

R ステージ シリンダーキット (88cc) 取扱説明書

(R ステージ装着車用)

製品番号	01-04-7003(シリンダーキット)
	01-02-7002(ピストンキット)

適応車種及び フレーム番号	Monkey(FI)	(AB27-1900001～)
	スーパーカブ 50	(AA01-1700001～)
	リトルカブ	(AA01-4000001～)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

⚠ 急発進・急加速についてのご注意 ⚠

空ぶかし、急加速、急激なエンジブレキはエンジンに高負荷がかかります。最悪の場合はクランクシャフトが破損し、エンジンを壊してしまう恐れがありますのでご注意ください。

☆特 徴☆

○シリンダーは耐久性、気密性、放熱性に優れたオールアルミシリンダーを使用、シリンダー内径にセラミックコンポジットメッキを施しフリクションロスを最低限に抑えます。

○オイル通路取り出しボスを設け、オイルクーラーキットに対応出来る仕様となっております。

○オイル通路プラグボルトには M5 タップ穴を設けており、弊社製温度センサーの取り付けが可能となっております。

○52mm ボア径で 88cc にスプアアップし、圧縮比も 12.0 : 1 とハイコンプ化し燃焼効率を向上させております。

☆正しく安全にご使用頂く為に☆

- ・この製品は、弊社製 R ステージ シリンダーヘッド専用のシリンダーキットです。このキット単体ではご使用出来ません。
- ・取り付けの際には、工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
- ・当製品を取り付け使用し当製品以外不具合が発生した場合、当製品以外の部品の保障は、どの様な事柄でも一切お受け致しかねます。
- ・オイルクーラーキット又は、オイル取り出しのバンジョーボルト / バンジョーは弊社製専用品が必要です。他社製品及び他車種用品との組み合わせは出来ません。
- ・製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ・他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ・必ず慣らし運転を行って下さい。
- ・このキットを取り付けると出力アップに伴い発熱量も増加します。長時間の高負荷走行にはオイルクーラーキットの装着をお勧め致します。
- ・ボルト、ナット、ノックピン、パッキン類の一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず必ず新品のものをご使用下さい。
- ・燃料は必ず無鉛ハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。ノーマルに比べて高圧縮比となるように設定しておりますので、燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。レギュラーガソリンを使用すると、異常燃焼を起こして本来の性能を発揮しない上に、ピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。キット取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。
- ・このパーツはクロード競技用として開発した製品ですので、一般公道では使用しないで下さい。一般公道で使用する場合は、必ず道路運送車両法の保安基準を充たし、違法運転を心掛けて下さい。又、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行される場合は、小型2輪以上の免許を取得し、必ず市町村の役所もしくは市税事務所で原付2種への変更(注：登録手順は各市町村により異なり、当説明書が必要な場合があります。)を行い、強制賠償保険等の排気量変更の申請を行う必要があります。
- ・レース等でご使用の場合は、いかなる場合もクレームは一切お受け出来ません。ご了承下さい。

⚠ 注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

■このパーツはクロード競技用として開発した製品ですので、一般公道では使用しないで下さい。一般公道で使用する場合は、必ず道路運送車両法の保安基準を充たし、違法運転を心掛けて下さい。

(道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。)

■作業を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)

■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)

■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)

■製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。

(部品の脱落の原因となります。)

※シリンダーヘッドは、必ず指定トルクで増し締めを行って下さい。

■ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16

TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

お問い合わせ専用ダイヤル：0721-25-8857

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させていただきます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

製品内容



番号	部品名	個数	リペア品番
1	ピストン (Mo コーティング)	1	13101-IRS-T00R
			13101-IRS-T00Y
			13101-IRS-T00B
2	ピストンリング	1	13011-181-T10
3	ピストンピン	1	00-01-0091 (クリップ2ヶ付)
4	ピストンピンサークリップ	2	00-01-0003 (6ヶ入り)
5	シリンダー 52mm	1	12101-GBJ-T02
6	オイルプラグボルト	1	00-07-0072 (シーリングワッシャ付)
7	オイルプラグボルト M5 穴付	1	00-07-0090 (シーリングワッシャ付)
8	シーリングワッシャ 10mm	2	00-07-0010 (10ヶ入り)
9	シリンダーヘッドガスケット	1	01-13-8009
10	シリンダーガスケット	1	
11	フランジボルト 6x25	1	00-00-0115 (5ヶ入り)
12	ノックピン 8x14	4	00-00-0194 (2ヶ入り)
13	原付2種マークセット	1	

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

⚠ 注意：トルクレンチを必ず用意し、確実に規定トルクを守り作業を行う事。

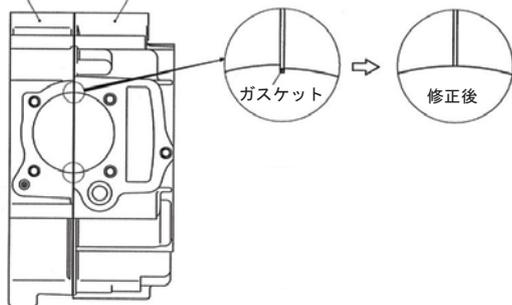
⚠ 警告：技術、知識の無い方は、作業を行わない事。

○エンジン脱着、クランクケース分割等の作業が必要となる製品があります。ホンダ純正サービスマニュアルを必ず参照し、確実に作業を行なって下さい。

○サービスマニュアルに従い、エンジンをフレームから取り外し、エンジンを分解します。

○クランクケースをボーリング加工する必要は無いですが、クランクケースの個体差でシリンダスリーブと干渉してしまう可能性があるため、クランクケースを修正します。

右クランクケース 左クランクケース



○各部品の点検を行います。

⚠ 注意：各部の点検、消耗品の確認交換は確実に行う事。

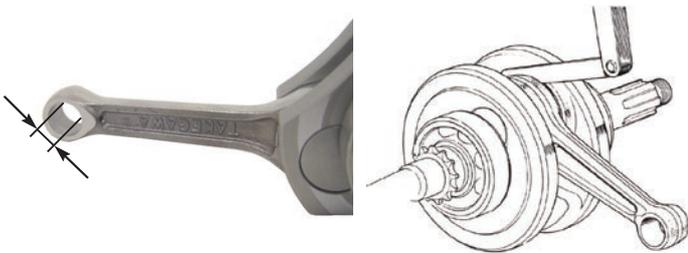
点検項目

・コンロッド小端部の内径を測定する。

∴ 13.10mm 以上交換

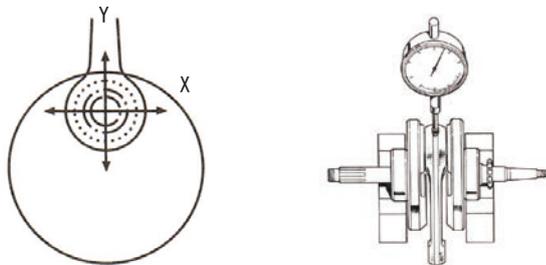
・コンロッド大端部軸方向隙間を測定する。

∴ 0.45mm 以上交換



・コンロッド大端部軸直角2方向のガタを測定する。

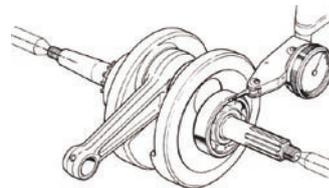
∴ 0.012mm 以上交換



・クランクシャフトのジャーナルベアリングのガタを測定する。

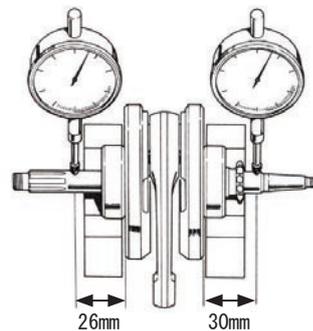
∴ 軸方向：0.10mm 以上交換

軸受け方向：0.05mm 以上交換



・クランクシャフトの振れを測定する。

∴ 0.03mm 以上交換



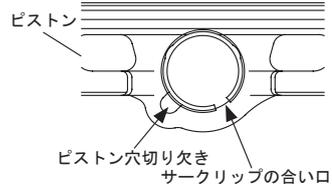
○サービスマニュアルに従いクランクケースを組み立てます。

1. ピストンを組み付ける

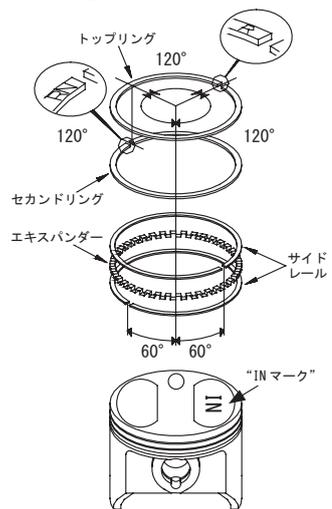
◇ピストンの片側に付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。
この時、サークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付ける。
◇ピストンサークリップは左側を先にはめ込みます。



◇ピストンピンサークリップの合い口は、ピストンピン穴の切り欠き部を避け、ピストンに対して上下方向に合わせる。

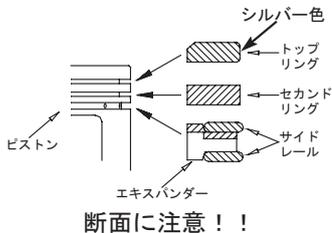


◇ピストンリング溝にオイルを塗布し、図を参考にして印字マークを上側にピストンリングを取り付け、合い口を合わせます。



トッピングの上面及びセカンドリングの上面には印字マークがあります。

※リング側面にシルバー色コーティングがある方がトッピングです。間違わない様に取り付けて下さい。



◇ピストンリング部及び、ピストンピン部をエアブローし、異物の噛み込みが無い事を確認する。
◇リング溝にエンジンオイルを塗布する。



◇エキスパンダーを入れる。



◇下サイドレールを入れる。



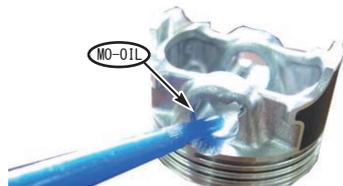
◇上サイドレールを入れる。



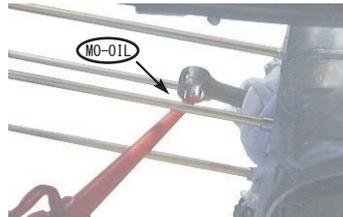
◇セカンドリング・トッピングを入れる。



◇ピンボス部にモリブデン溶液を塗布する。



◇コンロッドのピストンピン部にモリブデン溶液を塗布する。



◇ピストンヘッド "IN" マークを上(インテーク側)になるようにしてピストンを取り付ける。



◇コンロッドとピストンにピストンピンを通す。



◇付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝に、はめ込む。
◇ピストンピンサークリップの合い口は、ピストンピン穴の切り欠き部を避け、ピストンに対して上下方向に合わせる。



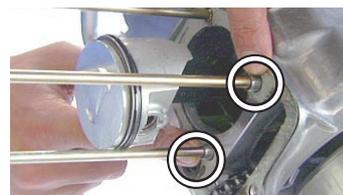
◇詰っていたウエスを取り外す。

2. シリンダーの取り付け

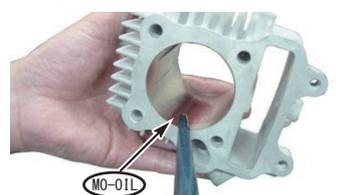
◇シリンダーガスケット面のシリンダー側とクランクケース側を脱脂する。
◇シリンダーガスケットを取り付ける。



◇キット内のノックピン 8x14 を取り付ける。



◇キットのシリンダー内にエンジンオイルを塗布し指で均等に塗り広げる。



◇シリンダーをピストンリングの合い口がずれないようにしながら指で押し少しづつはめる。



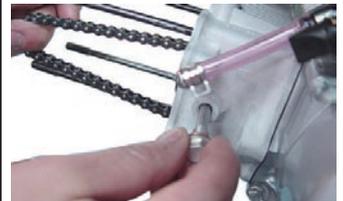
◇リングがシリンダーに入ったらカムチェーンをシリンダーに通しシリンダーをクランクケースにはめる。



◇カムチェーンを引っ張りながらガイドローラーを付ける。
◇シリンダーのガイドローラーボルト穴にガイドローラーのセンターが合う様に押し込む。



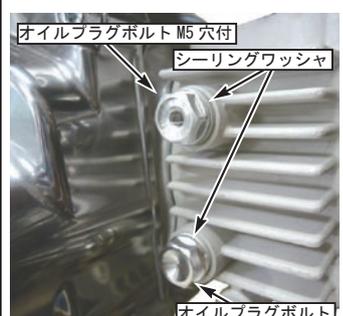
◇ガイドローラーボルトを取り付け、仮締めする。



◇キット付属のフランジボルト 6x25 を取り付け、仮締めする。

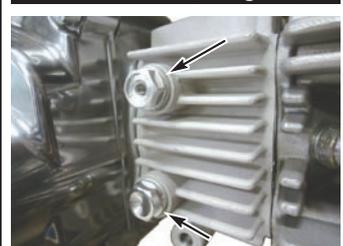


◇付属のシリンダーのボス2箇所、オイルプラグボルト / シーリングワッシャを取り付ける。
オイルプラグボルト M5 穴付は、エンジン取り付け時に上側になるよう取り付ける。
※オイルクーラーキットを取り付ける場合は、そのキットの取扱説明書に従う事。



◇シリンダーとシリンダーヘッドの合わせ面を清掃し、ノックピン、キット内のシリンダーヘッドガスケットをシリンダーに取り付ける。
◇シリンダーヘッドをシリンダーヘッドキットの取扱説明書に従い取り付ける。
◇シリンダーヘッド取り付け後、シリンダーに取り付けた、オイルプラグボルトを規定トルクまで締め付ける。

注意：必ず規定トルクを守る事。
オイルプラグボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)

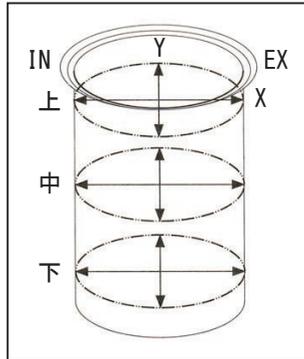


インスペクション / マニュアル

⚠ 警告：技術、知識の無い方は、作業を行わない事。

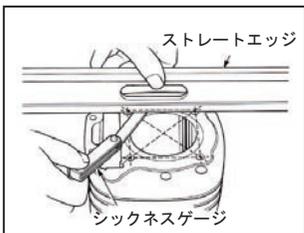
○シリンダーの点検

- ・シリンダーの内面の摩耗、損傷を点検する。
- ・ピストンピン方向とその直角軸方向 (X-Y 方向) に、上、中、下段の 6ヶ所でシリンダー内径を測定し、記録する。
最大測定値を内径値とする。
∴シリンダー φ 52.05mm 以上交換
- ・シリンダーとピストンの隙間を計算して求める。
∴クリアランス 0.09 以上交換



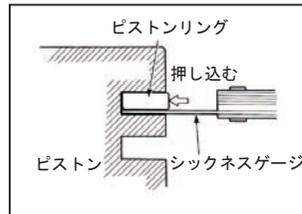
☆シリンダー内径が使用限度を超えている場合、シリンダーとピストンをセットで交換する。

- ・シリンダーの上面のキズ、損傷を点検する。
- ・シリンダーの上面の歪みをストレートエッジ及びシクネスゲージで点検する。
∴使用限度：0.05mm 以上交換

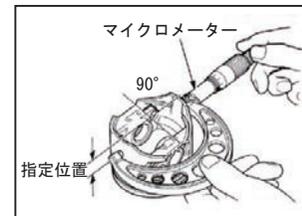
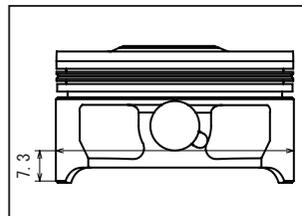


○ピストンの点検

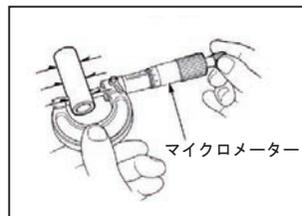
- ・ピストンからカーボンの汚れを取り除く。
- ・ピストンにピストンリングを取り付け、ピストンリングをリング溝に押し込んだ状態で、ピストンリングと、リング溝のクリアランスをシクネスゲージで測定する。
∴ TOP : 0.09mm 以上交換
2ND : 0.09mm 以上交換



- ・ピストンの外傷を点検する。
- ・ピストンピン穴に対し、直角の方向でピストンスカート下端から指定の位置でピストンの外径を測定する。

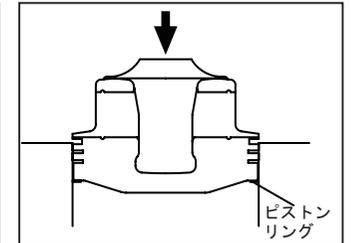


- ∴ピストンφ 51.96mm 以下交換
- ・シリンダーとピストンの隙間を計算して求める。
∴クリアランス 0.09 以上交換
- ・ピストンピンの外径を測定する。
∴ 12.98mm 以下交換



○ピストンリングの点検

- ・ピストン頭部でピストンリングを下部に水平に取り付け、合い口のクリアランスをシクネスゲージで測定する。
TOP : 0.50mm 以上交換
2nd : 0.60mm 以上交換
OIL サイドレール : 0.90mm 以上交換



重要：慣らし運転をしっかりと行って下さい。慣らし運転を怠るとピストンの焼き付き等のトラブル、又はピストンが大きく縮みピストン打音が大きくなる可能性があります。

[参考] 慣らし運転
5000rpm 以下、150km 程度